

議会だより

第55号

令和2年1月29日



祝 平成30年度 卒業生
未申会 厄払いみかんまき
令和2年1月29日

- 12月定例会・・・・・・・・・・・・・29分
議案審議
- 一般質問・・・・・・・・・・・・・49分
10人の議員が町政を問う
- 各委員会行政視察の調査報告・・・・・・・・15分
- 議会報告会・・・・・・・・・・・・・18分
- 町民の声・・・・・・・・・・・・・20分

1年の安全安心を願って

厄払いみかんまき

→19分で紹介

令和元年第4回定例会が、12月6日から13日までの8日間の会期で行われました。町からは、条例制定1件、条例改正8件、令和元年度補正予算8件、報告1件が提出されました。

また、議会からは議員提出議案1件、委員会提出議案1件が提出され、慎重な審議が行われました。



町道東106号線（旧駒止峠）の被災のようす

令和元年度一般会計補正予算（第6号）のうち災害復旧費（工事請負費）の内訳

項目	金額 (単位：千円)	集落・被災箇所・工事の種類
農地農業用施設災害復旧費	245,000	糸沢（龍伏堰 沈水工 L=30.0m） 糸沢（今泉堰 水路工 L=55.0m） 針生（牧ノ沢堰 水路工 L=150.0m） 水石（小滝堰 ブロック積工 L=25.0m）
林業用地施設災害復旧費	85,000	岩下（木戸沢線 水越工 L=20.0m 外） 貝原（貝原線 舗装工 L=600.0m 外） 川衣（諸沢川衣線 大型フトン籠工 L=50.0m 外）
公共土木施設災害復旧費	228,000	町道東106号線など13箇所 ブロック積工
金額計	558,000	

※このほか、小規模災害や土砂撤去、災害廃棄物処理など、緊急性の高いものは、専決処分による補正で対応したものがああります。また、令和2年度当初予算で対応予定の被災箇所もああります。

議案第85号

会計年度任用職員に関する条例

2020年4月に地方公務員法と地方自治法の一部改正に伴い、適正な任用・勤務条件を確保するため、新たに「会計年度任用職員」が制度化されます。

町長から、臨時・非常勤職員の適正な任用を行うにあたり、新たに会計年度任用職員として、給与の種類・給与や報酬の額、支給方法、勤務時間、期末手当などの必要な事項に関する条例案が提出され、審議の結果、全会一致で可決されました。

問

今回提出された条例案は基本的な事項を定めるものであり、具体的な給料、報酬の額は別途規則で定めることとしています。

答

規則は、基本的には県の方針に倣う考えです。県は令和元年12月中旬に定める予定であることから、今後情報提供をいただくとともに、近隣町村の動向や、職員組合との協議を進めながら、令和2年1月末を目途に定めていく予定です。

議案第93号

令和元年度一般会計補正予算(第6号)

歳入
寄付金

ふるさと納税寄付金

問

ふるさと納税をされる方で、「このようなことに使ってほしい」などの目的は把握しているか。

答

主なものとして、ヤマザクラ一万本の里づくり事業、伝統的建造物群保存地区の整備事業、祇園祭屋台歌舞伎保存事業、中高生海外交流事業となっております。

教育費

東京オリンピック・パラリンピック
参画事業

問

事業の内容は。

答

今回、予算計上したものは、令和2年3月に本町で予定されている聖火リレーを盛り上げるためのものです。

内容は、出演団体への謝金、手振り旗、広告の作成、出発式のステージ設置経費を見込んでいます。

国へ意見書を提出

議員提出議案第1号

採択

新たな過疎対策法の制定に関する意見書

過疎対策は、昭和45年に「過疎地域対策緊急措置法」制定以来、4次にわたる特別措置法の制定により、総合的な過疎対策事業が実施され、過疎地域における生活環境の整備や産業の振興など一定の成果を上げたところです。

しかしながら、人口減少や少子高齢化が急速に進んでいる当町では多くの集落が消滅の危機に瀕し、また、森林管理の放置による森林の荒廃と鳥獣被害、新潟福島豪雨や関東東北豪雨、台風19号による災害など、度重なる被災により、極めて深刻な状況に直面しています。

過疎地域は、都市に対する食糧・水・エネルギーの供給、国土・自然環境の保全、いやしの場の提供、災害の防止、森林による地球温暖化防止などに大きく貢献しています。

このような多面的・公益的機能は国民共有の財産であり、それは過疎地域の住民によって支えられてきたもので、国全体に対して過疎地域が果たしてきた役割は大きく、今後とも担う必要があります。

現行の「過疎地域自立促進特別措置法」は、令和3年3月末をもって失効しますが、引き続き、総合的な支援を充実・強化し、過疎地域の振興が図られるよう新たな過疎対策法の制定を強く求めます。
(一部抜すい)

一般質問

10人の議員が登壇

登壇順序・質問項目

- 1 **楠 正次 議員**・・・5分
①田代山崩落対策
②国土強靱化計画
③児童・生徒のSNS被害対策
④観光誘客とトイレ設置
- 2 **大桃 英樹 議員**・・・6分
①地域の人口減少と地域の活性化は
②ヘルスツーリズムで豊かな自然資源を
観光資源に
- 3 **菅家 幸弘 議員**・・・7分
①台風19号による県道栗山館岩線及び
尾瀬国立公園田代山の被害状況と今後の
対応策は
②国道352号線中山峠の安全対策は
③芝浦工業大学高杖セミナーハウスの利活
用は
- 4 **川島 進 議員**・・・8分
①「運転免許証自主返納支援事業」の見直
しを
②所得の低い方々に対して燃料代の補助を
- 5 **五十嵐芳道 議員**・・・9分
①ラジオ難聴地域の解消は
②町内県立高等学校の存続を求める取り組みは
- 6 **湯田 芳博 議員**・・・10分
①人口減少が進む町内の産業振興政策
②商業活動支援策
③在宅障がい者への就職支援策
④鳥獣被害に関する実態調査
⑤巨大化する第三セクターと関連する民間
企業の事業調和政策
⑥指定管理者制度の課題と対策
- 7 **渡部 訓正 議員**・・・11分
①町に滞在させる手立てを
②台風19号被害対策は
- 8 **馬場 浩 議員**・・・12分
①気候変動適応計画の取り組みは
②町が管理している橋台に危険水位の表示
を
③伊南川流域の流木やビニールなどの撤去
除却を
④老人介護施設及び病院施設などでの人材
不足の対策は
⑤中心市街地の振興計画は
- 9 **丸山 陽子 議員**・・・13分
①図書館の活性化を
②危険ゴミ処理講習会を
- 10 **湯田 哲 議員**・・・14分
①駒止湿原の入り口付近に待機小屋の設置
を
②隣接する複数の行政区が集まったひとま
わり大きな行政システム導入は
③スマホのSNSによる犯罪から子どもた
ちを守る為に

一般質問の様子はインターネット
(YouTube)で見ることができます。



南会津町議会中継：YouTube

【一般質問とは】

町の行財政全般について議員が提言を含めて町に考えを聞くことです。
令和元年度12月定例会の一般質問は、11～12日の2日間にわたり行われました。



田代山崩落対策と対応は

町長＝早急な治山・砂防整備を国に要望

問

田代山の細木沢上部が3万7千³m崩落しました。町はこれまでどのような対応をしましたか。

町長

崩落箇所はすべて国有林なので、11月14日に環境省、農林水産省、地元選出の国会議員に要望活動を行い、その後28日には直接対策担当の林野庁関東森林管理局に早急な治山・砂防施設整備の要望をしています。

国土強靱化計画の策定は

町長＝計画策定に向け準備を進める

問

国土強靱化地域計画の策定が求められています。町の取り組み状況は。

町長

本町では現在担当課で情報収集と策定の準備を進めています。今後は各課が連携して防災減災対策の地域計画を策定します。

児童・生徒のSNS被害防止は

教育長＝ルール作りが必要

問

「青少年インターネット環境整備法」が施行されましたが、これらの義務だけで子供たちを守れますか。

教育長

販売事業者などが青少年と確認し、本人や保護者に対してフィルタリングの有効性を説明し措置をとることで、ある程度有効ではあります。ええ。まずが根本的解決にはならないと考えます。今後も各学校で情報モラル教室の開催と、親子で情報機器使用のルール作りが必要と考えます。

用語

※1 青少年インターネット環境整備法

青少年が安全にインターネットを利用できる環境の整備などに関する法律。携帯電話端末などを提供する事業者は18歳未満が契約・使用する場合、フィルタリングを提供する義務があるが、昨年2月の法改正により、事業者に加え、携帯電話ショップの代理店なども対象になった。

24時間対応のトイレ設置を

町長＝伊南地域に設置を検討

問

観光誘客のおもてなしは、24時間対応のトイレ設置が重要だと思います。伊南地域に公衆トイレ設置の考えはありますか。

町長

平成28年度に策定した旧伊南小学校跡地利用基本構想に、公衆トイレ整備も位置付けています。今後は事業実施に向け、規模など具体的に検討していきます。



地域の人口減少と活性化は

町長＝第2期総合戦略で取り組む

国勢調査の結果から見た
南会津町と近隣町村の人口推移と減少率

	平成17年度	平成27年度	減少数	減少率
南会津町	19,870人	16,264人	3,606人	18%
田島地域	12,934人	10,860人	2,074人	16%
館岩地域	2,219人	1,732人	487人	22%
伊南地域	1,784人	1,392人	392人	22%
南郷地域	2,933人	2,280人	653人	22%
昭和村	1,632人	1,322人	310人	19%
檜枝岐村	706人	615人	91人	13%
下郷町	7,053人	5,800人	1,253人	18%

問

日本弁護士連合会では、平成の大合併で合併した人口が約4千人未満の旧町村の地域は、合併に加わらず存続を選択した近隣町村に比べ、人口減少が加速傾向にあるとの調査結果を示しました。

町長

国勢調査の結果は左表のとおりです。役場機能が縮小した影響で公務員減少、商店廃業、事務所閉鎖が起き、人口が減少したことが考えられます。

問

人口減少は地域活性の大きな課題になると考えますが、その対策は。

町長

人口減少による地域維持の課題は全国的な問題であり、国は「まち・ひと・しごと創生法」に基づき、地方版総合戦略の策定を促しています。

町長

民間会社やNPO法人などで森林をフィールドにアロマツアーや自然学習会を実施しています。

問

※2 ヘルスツーリズムの取り組み状況は。

問

今後の取り組みは。

町長

現在、林業成長産業化地域創出モデル事業の中で、新たな森林活用として、森林・林業体験ツアーに組み込む内容整理を行っています。

これを受け、本町でも平成28年3月に総合戦略を策定し、さまざまな施策を展開しています。

本年度末で第1期が終了となることから、引き続き第2期総合戦略を策定し、地域活性化に取り組めます。

ヘルスツーリズムで交流拡大を

町長＝実現に向け検討

用語

※2 ヘルスツーリズム

医学的な根拠に基づく健康回復や維持、増進につながる観光のこと。



台風19号の被害状況と対策は

町長＝関係機関へ要望

問

通行止めの
県道栗山館
岩線の被害状況は。
また、来年度の田代
山登山への影響は。

町長

水引集落
から3km先
で1カ所の路肩決壊の
ため通行止めとなつて
います。

県によると、災害復
旧工事の工事費などが
確定次第、年度内に発
注を予定しているとの
ことです。

山開きも例年通り行
う予定です。

問

田代山湿原の
被害と西根川
への影響は。
また、今後の復旧の
見通しは。

町長

田代山頂
の湿原の
被害はありませんでし
た。

西根川へは大量の土
砂が流出し、木賊温泉
岩風呂の建物が流され
たほか、アユやイワナ
などが釣れない状況で
す。

山腹崩落が大規模の
ため、復旧には長期の
期間と多大な経費を要
するものと推測してお
り、西根川流域住民の
不安解消のため、早急
な土砂流出対策を関係
機関へ要望します。

国道352号線中山峠の安全対策は

町長＝必要な対策を求めていく

問

携帯電話の基
地局設置と、
スノーシエッド内の汚
れ対策は。

町長

令和元年9
月に携帯電
話事業者より、具体的
な計画が示され、基地
局設置場所は電波調査
実施後に決定し、令和
2年度から着手予定と
のことです。
スノーシエッド内の
汚れは県に対策を求め
ます。

芝浦工業大学高杖セミナーハウスの利活用は

町長＝状況を見極めながら判断する

問

平成29年に閉
鎖されたが、
町に利活用の働きかけ
はなかったか。
また、町で利活用す
る計画は。

ています。

有効利用できる可能
性や施設の老朽化の状

況などを見極めながら
判断していきます。

町長

大学では
無償譲渡も
選択肢のひとつとして
検討しています。

町としては、公共施
設等総合管理計画に基
づき、新たな施設の取
得は慎重な対応を行っ



閉鎖された芝浦工業大学セミナーハウス
(高杖原地内)



運転免許証自主返納支援事業の見直しを

町長＝配偶者を含めた共通利用券のあり方を検討

運転免許証自主返納者支援事業実績

年度	交付者	利用券 配布金額	利用券 請求実績額	利用率
平成 28 年度	196 人	2,940,000 円	1,598,000 円	54.4%
平成 29 年度	259 人	3,885,000 円	2,371,900 円	61.1%
平成 30 年度	295 人	4,425,000 円	2,399,300 円	54.2%
合 計	750 人	11,250,000 円	6,369,200 円	56.6%

【実績の見方】

平成 30 年度では、295 人の方に 4,425,000 円分の利用券を配布しており、そのうち実際に利用された利用券は 2,399,300 円で、利用率は 54.2%です。

問

※¹運転免許証
自主返納者支
援事業で交付される共
通利用券の使用範囲
を、本人だけでなく配
偶者にも拡大する考え
は。

町長

現在進めて
いる地域公
共交通再編実施計画の
策定作業において実施
している実証実験運行
の結果を基に、利用し
やすい運行体系を整備
し、配偶者も含めた共
通利用券のあり方を検
討します。

解説

※¹運転免許証自主返納者支援事業
公共交通の利用促進と高齢者運転の
事故防止を図ることを目的に、運転免
許証を自主返納し、運転経歴証明書の
交付を受けた方に、町内交通機関（鉄
道、バス、タクシー）で利用できる共
通利用券を交付する事業。
65 歳以上の方が対象で、町公共交通
対策協議会に申請することで年間 1 5
0 0 0 円分を交付、最大で 5 年間の交
付を受けることができる。

問

ここ数年、燃
料価格は高止
まりで推移し、高齢者
世帯、ひとり親世帯な
どの家計を圧迫してい
ます。

所得の低い方々に燃料代補助を

町長 II 「年金生活者支援給付金制度」で対応を

町長

消費税率
の引き上
げに伴い家計に影響を
及ぼす可能性があるこ
とから、その対策とし
て「住民税非課税の方
と」※²小さな乳幼児の
いる子育て世代の方」
を対象にプレミアム商
品券を販売していま
す。
町内の商店で使用で
せん。

解説

※²小さな乳幼児のいる
子育て世代の方
2 0 1 6 年 4 月 2 日から
2 0 1 9 年 9 月 30 日まで
生まれた子どもがいる世帯
主。



ラジオ難聴地域解消を

町長＝国・県へ要望

問

総務省の「民放ラジオ難聴解消支援事業」を利用し、難聴地域の解消を
してはどうか。

町長

総務省事業は中継局整備事業費の3分の2を補助するものですが、山間部は多数箇所の中継所が必要で多額の建設費や維持管理費が見込まれることから、会津地域全体の課題として国で抜本的対策をす
るよう「会津総合開発協議会」で国・県へ要望を行っています。

問

町防災行政無線からNHKの災害ニュースを放送する事が可能であるがその状況は。

町長

NHK福島放送局と「非常災害時のニュース再放送に関する覚書」を締結しており、放送することが可能ですが、現在まで送信する局面はありませんでした。

問

駒止トンネル内のラジオ受信状態の改善を。

町長

県に確認したところ、「状況を確認し対策を検討」とのことでした。

町内県立高等学校存続の取り組みは

町長＝要望活動を継続

問

町と町内関係団体の取り組みは。

町長

町内の取り組みは左表のとおりです。

問

県教育委員会の動きは。

町長

県教育庁で2回目となる県立高

町内県立高等学校存続の取り組み経過

日程	内容
10月25日	県庁を訪問し、県知事・県教育長へ田島高等学校と併せて存続を求める要望書を提出。 南会津・田島両高等学校振興連絡協議会長、南会津高等学校同窓会長、南会津中学校PTA会長、町教育長が出席。
11月27日	県教育庁を訪問し、県立高校改革監へ南会津・田島両高等学校の存続を求める地域住民(5,590人)の署名と各種団体(113団体)の署名を提出。 南会津高等学校同窓会長、町教育長らが出席。

校改革懇談会を開催しており、本町では、12月5日に南会津高等学校で開催されました。出席者からは、「拙速に統合を進めるのではなく、地域の状況把握や住民の意見を十分に聞いてほしい」などの意見が出されましたが、先に示された県立高等学校改革前期実施計画に基づく説明から大きく変わるものはありませんでした。今後とも関係団体と連絡を密にしなが、2校存続に向けた要望活動を継続します。



商業活動支援策は

町長＝新規創業と既存事業者を継続支援

問

前回、9月の議会定例会で町長は「町全体を見据えた商業活動支援を行なうとともに、各地域の意向や実情も踏まえて対策を講ずる必要がある」と答えています。また、各地域の実情をどのようにつまえていますか。

町長

新規創業と既存の事業者の継続をバランス良く支援して行く必要があります。また、各地域とも商店などが廃業を余儀なくされており、商業機能の維持が大きな課題と認識しています。

在宅障がい者への就労支援策は

町長＝情報収集を進める

問

前回、9月の議会定例会で町長は「多様な仕事づくりを目指し、調査研究を進めたい」と答えています。その進み具合はどうですか。

町長

障がい者の方々に興味を持っていただけるような仕事づくりを目指し、インターネットの活用や南会津保健福祉事務所からの情報収集を進めています。

第三セクターに外部出資の考えは

町長＝考えは無い

問

「みなみやま観光株式会社」は南会津町だけが出資する会社であるため、外部からの経営上の問題指摘が無い状況です。今後、外部からの出資を募る考えはありますか。

町長

現段階では、外部からの出資を募る考えはありません。

経年変化の修繕は

町長＝経費の削減に取り組む

問

指定管理を行なっている町有施設の、経年変化に対する修繕はどのように考えていますか。

町長

施設の管理・メンテナンスをこまめに行ない、修繕経費の削減に取り組みます。

その他の質問

- ・人口減少が進む町内の産業振興政策
- ・鳥獣被害に関する実態調査



観光客が滞在したくなる手立ては

町長＝関係団体と連携し、誘客に取り組む

問 会津縦貫南道路の完成後、本通りの現国道121号線利用は少なくなり、商店街の空洞化が危惧されます。

バイパス沿線は、各種施設が集中し駐車場もあります。これら施設の窓口一本化を検討してはどうか。

町長 窓口一本化は考えていませんが、周辺を一体的に捉え、各施設が他の施設もPRすることや、関係団体・関係課などが連携を強め、滞在者増の検討や既存イベントを活用し、誘客に取り組みます。

問 本通りの活性化方策について、町の考えは。

町長 「まちなか拠点施設整備」を、商工会・商店関係者などの検討委員会で検討し、今後その結果が報告されます。提案が実現可能かどうかも踏まえ、精査検討します。

問 バイパス工事完成前に、町内活性化の対応が必要では。

町長 町案内人によるまちなか散策コース作成、駅なかプロジェクトによる駅周辺の体験周遊プランの策定などソフト面から誘客を検討しています。



国道 289 号バイパス沿線の様子 (令和 2 年 1 月 7 日撮影)

台風 19 号被害対策は

町長＝国・県へ復旧対策を要望

問 駒止湿原への進入路が台風19号により再び被害を受けました。

災害復旧は、原形復旧が基本ですが、再度壊れないよう路面舗装はコンクリート舗装としては。

また、田代山湿原下流の崩落が拡大し被害規模は甚大です。国へ国直轄事業を要望してはどうか。

町長 被害は100m規模で、前後左右と表面をコンクリートで覆っても、水の侵入防止は困難で、アスファルト舗装復旧を考えています。

田代山崩落対策は、国に対し直轄工事での対応、省庁を超えた取り組みでの実施を要望しています。



気候変動適応計画の取り組みは

町長＝環境基本計画の進行管理で検討

問

2018年6月に気候変動適応法が公布され各自治体に気候変動適応計画策定の努力を義務づけるなどあるが、町の取り組みは。

町長

平成30年度に策定した第二次南会津町環境基本計画では望ましい環境像を実現するための適応策の具体的な取り組みを定めています。今後、取り組むべきかは進行管理の中で検討していきます。

問

記録的な高温や台風、豪雨災害が深刻化しています。世界18か国や935の地方政府及び自治体で取り組んでいる「気候非常事態宣言」を我が町でも宣言すべきでは。

町長

南会津町地球温暖化対策実行計画（事務事業編）を策定し、温室効果ガス削減に努めています。現段階では気候非常事態宣言をする考えはないが、温暖化対策の実施状況を取りまとめ公表し、周知啓発を行います。

問

第二次南会津町環境基本計画には、温暖化の原因の一つである食品ロスの削減を検討するとあるが、具体的な普及啓発は。

町長

食品ロスは対応を求められている課題であり町としても普及啓発をはじめさまざまな取り組みに力を入れています。過日、12月3日に館岩幼稚園、館岩小学校低学年の児童を対象に食べ残しゼロ学習会を実施していきます。

また、身近な飲食店や買い物などにおいても取り組みを啓発し町内の食品ロスの状況把握に努めます。



食べ残しゼロ学習会のようす（令和元年12月3日 館岩会館）

その他の質問

- ・ 町が管理している橋台に危険水位の表示を
- ・ 伊南川流域の流木やビニールなどの撤去除却を
- ・ 老人介護施設及び病院施設などでの人材不足対策は
- ・ 中心市街地の振興計画は



図書館の活性化を

教育長＝子育て支援の場としても活用

問 図書館を活用していただくための取り組みは。

教育長

本や図書館の紹介を行う

う「わくわく図書館ワーク」や読書週間に小中学生対象の「多読チャレンジ」を行い、親しみを持っていただけるきっかけづくりに取り組んでいます。

また、乳児検診時に本を贈る「ブックスタート事業」や2歳児歯科検診時に読み聞かせなど、子育て支援の場としても活用しています。

機会をとらえ高齢者施設などへ出向いての読み聞かせ事業の取り組みも実施していきたいと考えています。

問 学校図書室と町図書館との関わりは。

教育長

直接的な関わりはあり

ませんが、図書館で選書した約100冊の本を貸出しする事業を行っているほか、図書館見学や職場体験の受け入れ、夏休みおすすめの本の紹介などを行っています。

問 本の消毒機器を購入してはどうか。

教育長

図書館の本は、不特定

多数の方が利用されることから、衛生状態を気にする方がいることも考えられますが、本の消毒用機器の購入については、必要性の有無も含めて、今後の研究課題とします。

危険ゴミ処理講習会を
町長＝講習を開催し、不安解消に努める

問

スプレー缶などの危険ゴミ

による事故を防ぐため講習会を実施してはとを考えます。

町の考えは。

町長

危険ゴミは、収集運

搬や処分作業中にも危険が伴う廃棄物であるため、家庭から排出される際にも、正しい方法で行われなければなりません。

このため、講習会などの要望が寄せられた場合は、南会津地方環境衛生組合とも連携しながら、講習会を開催し、不安の解消に努めます。



南会津町図書館のようす（御蔵入交流館内）



駒止湿原入り口に待機小屋設置を

町長＝待機小屋は今後の研究課題

問

駒止湿原へのアクセス道路、町道東106号線は台風19号により再び不通となった。これまで4年間「駒止湿原案内の会」による定期的パトロールが実施され、今後も続きます。そのパトロール中、天候の急変による嵐や降雨時の待機小屋がありません。案内の会や訪れた人たちが身を守る待機小屋の設置が必要と考えますが。

町長

待機小屋を湿原入り口付近の駐車場の一部に設置すれば、駐車可能台数が減り入山者の利便性が低下します。来年度以降、入山者数の推移や必要性の有無を含め、待機小屋のあり方を今後の研究課題とします。

人口減少に対応した行政システム導入は

町長＝行政区同士での連携などを支援

問

今後、さらに人口減少が進み地区の行事を地区内の人だけでは実施できない状況も増えていきます。総務委員会で視察し

た島根県おのなん南町は面積420km²、人口約1万人で、12ある公民館ごとに館長が中心となって職員と住民により、地区別戦略で魅力ある事業を次々に実施していました。

そこで本町も、顔の見えるサービスができる96の行政区は今後も残しつつ、隣接した複数の行政区を一つにした、ひとまわり大きい行政システムを導入する考えは。

町長

現在、歳の神などの行事を近隣行政区と連携して実施している地域がある事は把握していません。

町主導で、複数の行政区をまとめた行政システム導入は考えていません。今後、行政区同士での連携や一体的な事業実施についての要望があった場合は、町としても支援していく考えです。



駒止湿原山開きのようす（令和元年10月6日撮影）

その他の質問

・スマホのSNSによる犯罪から子ども達を守るために

総務委員会

湯田 哲・川島 進・湯田 芳博
菅家 幸弘・星 光久・室井 嘉吉

令和元年10月23日(水)～10月25日(金)

島根県邑南町

公民館単位の地区別戦略・A級(永久)

グルメで地域づくり・日本一の子育て村構想

鳥取県米子市(日農興産)

地場産品(マコモ)の活用で地域おこし

島根県邑南町は平成16年に3町村が合併し、人口は10598人(11月末)、面積は本町の約半分419km²(山林が86%)の中山間地。広島市までは車で約1時間、人の交流や立地条件に恵まれています。

公民館単位の地区別戦略

邑南町の施策の特徴に「12公民館単位の地区別戦略の推進」があります。

人口減少に歯止めをかけるためには、地域との協働による取り組みが不可欠と考え、各

称して地域のブランドづくりを行っています。

公民館には町職員が常駐し、住民と行政をつなぐ「協働づくりの場」として重要な役割を行っています。

各公民館エリアから地域に根差した特色ある人口減少対策事業「地区別戦略」をたて、その具体的事業化に向けての相談体制の整備、学習機会の提供、予算の確保などを行い、その実現に取り組んでいます。

A級(永久)グルメで地域づくり

邑南町でしか味わえない食や体験を「A級(永久)グルメ」と

地域おこし協力隊事業を活用した食材作り

から調理までを行う「耕すシェフ」などを育成し、今では飲食店などが20軒増え、地域内の消費や起業家も増加し、年間90万人の観光客が訪れています。

日本一の子育て村構想

「日本一の子育て村構想」と銘打ち、第2子以降の保育料無料化や中学卒業までの医療費無料化を始めたことで、子育てしやすい町として注目を集め、定住希望者や交流人口の増加につながりました。

定住支援を行う定住支援コーディネーターなども配置しています。

調査結果

マコモを活用した有機堆肥製造

調査結果

製造工程は企業秘密

①公民館が核となつて地域づくりを実践する仕組みは本町でも地域協議会の強化や、地域づくりを担う組織体への改編などの参考となると感じました。

②地域創生に最も必要なものは人材であると改めて認識しました。

今後の議会活動で「人材の掘り起こしと育成」を進めるとともに、行政の仕組みづくりとそれが機能する人材配置なども提案していきたい。

*マコモは鳥取県や島根県に自生し、古来から神聖な植物として出雲大社や各所の神社のしめ縄や畳表などに使われてきました。

今回訪れた「日農興産」の澤田利男会長は放置されたままのマコモの根株に棲息する微生物の働きに着目するとともに、船積みされて入る外国産木材の皮(産業廃棄物)を使つた有機堆肥を製造しています。

本町でもマコモを栽培している方がいるので気候的問題はなく、耕作放棄の水田などでマコモを栽培し、廃棄される草木を原料に南会津産の有機堆肥生産の可能性を探りたい。

解説

*マコモ

イネ科の多年草。新芽はマコモダケと呼ばれる食材で、食感はタケノコに似ている。国内では生産量は少ない。食材以外にもマコモによる有機堆肥として活用されるほか、美容や健康関連製品など幅広く使われている。



日農興産の澤田会長よりマコモを使った有機堆肥製造の説明のようす

産業建設委員会

湯田良一・馬場浩
高野精一・山内政浩

令和元年9月25日(水)～9月27日(金)

長野県池田町

ヤマザクラの推進体制について

住友林業(株) 岐阜樹木育苗センター

(岐阜県下呂市)

苗木生産事業について

自生するヤマザクラ
景観をPR

今回訪れた池田町は長野県北安曇郡の南部に位置し、北アルプスの雄大な山容を一望できる景観を有しています。

池田町の陸郷地区では、ヤマザクラによる観光PRを積極的に行っており、地区内8世帯約20人が推進体制に関わっています。元来ヤマザクラは自生していたもので、鳥が種を蒔き散らしその結果、次々に芽を出し、エドヒガン、オオヤマザクラが成木して目立

つようになってきました。2007年に著名力メラマン、ピート伊藤氏が来訪され陸郷地区のヤマザクラの景観に感激され「西の吉野、東の陸郷」と称されるようになり、次の年からヤマザクラの美しさ

が広められ、観光客が徐々に増えていきました。地域住民・陸郷地区の人々により通称「桜仙峡」と定め、自生する桜を高台から眺め見下ろすエリアとしてPRを始めました。2009年には、地域全体の桜模様を「陸

郷山桜」として、「陸郷山桜トレッキング」イベントを始めました。

調査結果

ヤマザクラ1万本の里づくりを目指す当町と池田町とは、ヤマザクラの景観を目指すことでは一致しています。自生のヤマザクラの景観でほとんど予算を使わなくても維持出来ることは大きな違いでした。

また、地域の方々から積極的に景観維持に関わっていることも今後我が町の参考となることであると感じました。

苗木生産施設

住友林業(株)が運営する岐阜樹木育苗センターでは、苗木育成環境の最適化と周年生産

体制を構築すること、育苗期間の短縮による小面積での大量生産と苗木の品質向上を目指しています。

具体的には「発芽室」を設け一度に最大14万個体の安定的な発芽を可能にしています。

半自動式播種機も合わせて導入することで、手作業での種まきと比較した生産能力は5倍～10倍となっています。

発芽室は野菜などの発芽の際にはよく用いられませんが、林業用種苗に用いるのは珍しい事例と言えます。

また、1人でも1500本以上のコンテナ苗を載せた専用台・ベンチを移動できる「ムービングベンチ方式」を採用し、労働負担の軽減に取り組んでいることが、女性の雇用に結びついていると言えます。



樹木育苗センターでのコンテナ苗(「ムービングベンチ方式」を採用)

空調機の導入で、きめ細かな温度調節が可能となり、苗木の成長促進効果は絶大でした。

調査結果

岐阜樹木育苗センターは、令和2年には60万本生産を目指しており、正に苗木作り工場と呼ぶにふさわしい施設でした。

また、南会津町で稼働する施設関係者の研修が、10月から行われるとの事でした。

本町の長野地区に建設される施設は20万本生産施設で、下呂の施設より規模は小さいものの、機能は今までの施設運営ノウハウを生かして、よりグレードの高い施設になるとの説明があり、安定した苗木生産が期待されます。

文教厚生委員会

大桃英樹・丸山陽子・五十嵐芳道
室井英雄・楠正次

令和元年10月29日(火)～10月31日(木)

岩手県紫波町(オガールプラザ)

官民連携による複合施設の運営について

岩手県大槌町

学校地域の連携について

岩手県一関市

独自教育施策について

賑わいの中に
充実の図書館運営

岩手県紫波町「オガールプラザ」は、公民連携の手法で建設され、年間約100万人が利用する施設です。

このエリアには官民複合施設2棟、民間複合施設1棟が建つ4つのエリアを中心に、分譲住宅地、日本サッカー協会公認の県フットボールセンター、ナショナルチームが練習会場とするバレーボール専用体育館があります。

オガールプラザには、図書館や地域交流センター、子育て応援センターなど公共施設部分とその他民間施設があり、紫波マルシェと名付けられた産直販売施設をはじめ、各種医院やメガネ店、ヘアサロンなど、さまざまな業種で約50の店舗が営業しているのが特徴ですが、特に注目したのは図書館です。

年間20万冊の本が貸し出され、図書館内にはさまざまな世代の方が本を読んだり、勉強したりしていました。町民のグループ活動を

を紹介したコーナーやおすすめ図書の展示、子どもたちの自由研究展示のコーナーもあり、とても魅力的な図書館でした。

調査結果

図書館の取り組みが多様で豊かであり、子どもから高齢者まで幅広い層が利用している様子はまさに町民の憩

いの場となっており、本町図書館でも参考にできることがあることから、提言していきま

地域で育てる学校

東日本大震災の津波

で大きな被害を受けた大槌町が、小学校4校と中学校1校を一緒にして中高一貫校となる大槌学園として、地域

と一体となったコミュニケーションスクールをスタートしました。

震災被害の教訓から同校にチーム大槌「ふるさと科」を設置し、

地域住民が学園の運営に大きく関わっています。

大槌学園は小中学校9年を「4年・3年・2年」で区切り「ホップ・ステップ・ジャンプ」の3段階の考え方で進めています。

これにより「中一ギャップ」が軽減されています。

調査結果

小中一貫教育のメリットは、「中一ギャップ」を抑制すること、長い目で見守ることにより良い育ちにつながることです。

当町においても中一ギャップや少子化により固定化した人間関係

による弊害が一部で見られることから、今後少人数化する地域においては小中一環を考察していくべきです。

コミュニケーションとは、地域と学校が連携し、多くの住民が子どもたちの育ちをサポートする学校です。

また、学校を「地域の中心」と捉える考え方もあります。

視察した授業には多くの町民が参加し、防災に関する学習の発表を見守り、率直な意見を述べられています。

我が町においても、学校の先生や保護者だけでなく、地域の方も協働で取り組む「PTCA」という考え方を導入し、地域にとって大切な学校を中心としたあり方を模索していくべきです。



バレーボール専用体育館
(岩手県紫波町 オガールプラザ)

丹藤区で開催

日時	11月9日(土) 午後3時から
会場	グループホーム花 南会津(丹藤区)
参加者	区長ほか23人
出席議員	湯田 哲・山内 政・五十嵐芳道・湯田芳博 丸山陽子・湯田良一・星 光久・楠 正次
質疑事項	①特別養護老人ホーム「優雅」支援の経過は。 ②5年後の「優雅」の経営状況が悪い場合の対応は。 ③介護報酬の「関東単価」とは。
要望・意見	①介護職員の人手不足について。 ②鳥獣被害対策について。 ③台風警戒時の対応について。 ④防災無線の避難指示について早めの放送を。



長野区で開催

日時	11月16日(土) 午後6時30分から
会場	長野林業研修センター
参加者	区長ほか12人
出席議員	渡部訓正・大桃英樹・馬場 浩・川島 進 室井英雄・高野精一・菅家幸弘
質疑事項	①税金の滞納額と人数は。 ②特別養護老人ホーム「優雅」の町としての関りは。 ③県の森林環境税は廃止になったのか。 ④祇園会館の今後の活用は。
要望・意見	①長野林業研修センターの維持管理について ②生活用水、農業用水の安全確保について ③会津南縦貫道路の建設促進について



※質疑事項および要望・意見は一部のみ掲載しています。

なお、いただいた意見や要望は所管委員会で調査し、結果を区長宛に回答します。

【議会報告会を開催しませんか】

行政区長や各種団体などの代表者を通して、議会議員または議会事務局へご連絡ください。

その際に、開催希望日などがあれば、併せてお知らせください。

開催時期は、定例会終了後、概ね1カ月半以内で、申込受付は先着順で3団体までとなります。

町民の皆さまの
声を町政に
届けます！



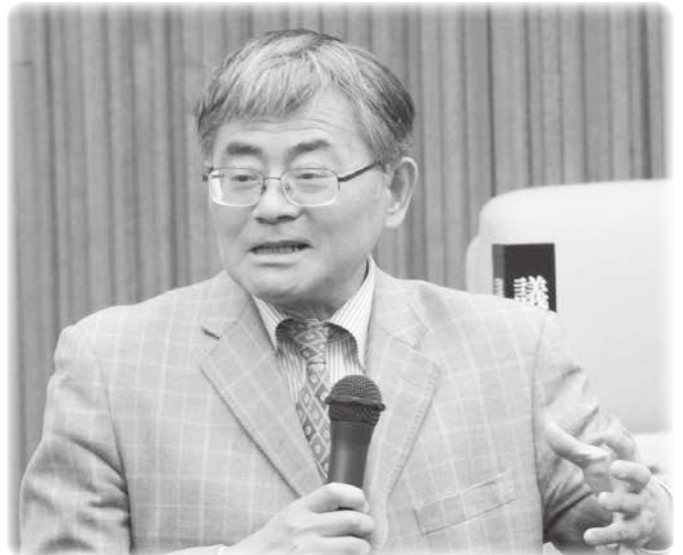
議長より議会運営委員会に「議会改革」について次の4点の諮問が出されました。

- ①議会基本条例の研修会実施及び目的達成の検証
- ②上記検証の結果、改善が必要な場合は、必要な措置
- ③議会報告会の検討及び実施要綱の見直し
- ④その他議会改革全般

議会運営委員会は諮問を受けた後、答申に向け議会基本条例の研修会を行い、議員アンケート調査を実施しました。

令和元年12月24日には、全国の自治体の議会改革に精通されている山梨学院大学法学部政治行政学教授・江藤俊昭氏を講師にお招きし、「議会改革の到達点と課題」を演題にお話しをいただきました。

江藤先生は平成26年6月1日以来、2度目の来町でした。



江藤俊昭先生による講話のようす

しっかりと研修！

江藤俊昭先生（右写真）は、全国町村議会議長会研究会委員や地方議会の審議会委員に在職しています。

先生は新たな議会として「閉鎖的でなく住民と歩む議会」「質問の場だけでなく議員間討議を重視する議会」「追認機関でなく町長と政策競争する議会」を説かれ、町長と議会の二元代表制の重要性を指摘されました。

議会は、町から提出された議案などに対して、意思決定した際は、その内容を住民へきちんと説明できるようにしなければならぬ責務も負っていると話されました。

【表紙の紹介】厄払いみかんまき



みかんまきのようす

令和2年1月2日、南会津町役場本庁舎前で、厄払いみかんまきが行われました。毎年、その年に42歳の厄年になる田島中学校を卒業した男性が行っている行事です。今年、平成6年度に田島中学校を卒業した男性35人がみかんやもちをまき、多くの町民の方が駆けつけました。今回の代表者である菅家泰宏氏から、「今年一年の安全安心を願い、仕事を頑張っていきたい」と抱負を述べられました。

南会津町へU・Iターンしてきた方へ、移住されたきっかけや町の魅力をインタビューしました。



右からなめだ滑田 崇志さん、雄太くん、倫太朗くん、光さん
宮城県仙台市から南会津町（針生区）へIターンし、現在15年目です。
崇志さんと光さんは、町内の設計事務所に勤めるほか、幅広く地域活動に参加されています。

Q 南会津町に来られる前はどちらにお住まいでしたか？

滑田さん 宮城県仙台市

です。

Q 移住される前は何かを教わっていましたか？

Q 南会津町の住みたいと思っただけで移住されたのでしょうか？

滑田さん 仙台にある大学の大学院に通っていました。卒業後、南会津町の設計事務所にお世話になりました。

滑田さん 仙台にある大学の大学院に通っていました。

滑田さん 設計活動として、魅力的な活動をやっていくことがありました。

静かな環境でできることもよかったです。また、地元の人もあたたかかったことも大きいです。

Q 現在困っていることはありますか？

滑田さん 車中心の生活で運動不足になりがちかもしれません。田島の町の中も歩いて楽しめると思います。

Q 町行政に何か求めたいことはありますか？

滑田さん 南会津町の住民の方自身があと10年後、20年後にどう暮らして、働き方をした

Q 今後の南会津町の発展について、何か期待や懸念はありますか？

滑田さん 南会津の暮らしが、他地域の人にとって魅力的な部分も数多くあると感じています。磨いていくことで、より人が集まって来ると地域になっていくと思います。

いのか、考えることから始まるワークシヨップをやれると面白いと思います。

お金をかけず、アイデア次第で持続可能な生活のヒントが探せると思っています。

Q 最後に一言どうぞ。

議会を傍聴してみませんか

- 議会広報委員会
 委員長 丸山 陽子
 副委員長 馬場 浩
 委員 五十嵐芳道
 川島 進
 渡部 訓正
 湯田 哲

議会を傍聴する手続きは簡単です。
 本庁3階の議場傍聴席入り口で住所と氏名を書くだけです。
 傍聴席では、提出された議案も閲覧できます。

令和2年第1回定例会
3月6日(金)開会予定